

会計名 一般会計			市民講座開設事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	東刈谷市民センター		
10	6	9					担当係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習機会の充実							
	目的	多様化する市民の学習要求に応え、誰もが気軽に学べる機会と場所を提供し、生涯学習の推進と支援を図る。			主たる内容	市民ニーズの把握に努め、各種講座を前期後期に分けて約3か月間（各10回程度）開設する。 1講座当たりの受講者数は、20～30人程度で実施し、市民が気軽に学習活動に参加できる場を設ける。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	社会教育法						
		対象者	市内在住または在勤の人			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・市民講座開設数 6講座 ・市民講座受講者数 110人		・市民講座開設数 7講座 ・市民講座受講者数 136人		・市民講座開設数 6講座 ・市民講座受講者数 138人		・市民講座開設数 6講座 ・市民講座受講者数 116人		
成果		受講者の知識・教養の向上、技術の習得に資すると共に、学習者相互のふれあいの場を提供することにより、生涯学習活動の推進に貢献することができた。								
課題		市民講座修了後の受講者の施設利用を考慮に入れ、受講者による自主サークルへの参加や新たな自主サークル結成の促進を図る必要がある。								
指標名称（単位）					実績値			目標値		
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標	市民講座受講者数（人）				110	136	138	116	130	
指標										
他市との比較検証	近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、市民が多様な学習機会の提供を受けることができるよう、地域の特性や公共的課題を鑑み、多種多様な講座を開催し、生涯学習の推進を行っている。									
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①		635	640	621	611	合計		620,925 円	
	財源	特定財源	110	122	138	106	報償費	450,000 円		
		一般財源	525	518	483	505	需用費	62,945 円		
	職員人件費 ②		3,908	3,877	2,700	4,644	役務費	22,000 円		
	総事業費（①+②）		4,543	4,517	3,321	5,255	使用料及び賃借料	85,980 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費			0	講座受講料						
2年度以降の事業費見込			0							

会計名			市民講座開設事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	東刈谷市民センター
款	項	目		担当係	
10	6	9			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動支援をしており必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	各種講座の開催により市民への多様な学習プログラムの提供、及び学習意欲の一層の向上や参加促進を効率的に行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	時代の変化に対応したプログラムの提供など、市民の生涯学習活動を支援するために市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	各種講座を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、各種講座を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名 一般会計			学習発表会実施事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	東刈谷市民センター		
10	6	9					担当係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	東刈谷市民センターの利用団体が日頃の学習成果を発表・展示することにより、学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図る。			主たる内容	学習成果の発表・展示、芸能音楽の発表、茶会等を年1回、東刈谷市民センター全館で実施する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	社会教育法						
		対象者	東刈谷市民センター利用団体及び地域住民		事業期間	昭和57年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 課題 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		2月26日（日）開催 ・参加団体数 31団体 ・参加者数 296人 ・入場者数 921人		2月25日（日）開催 ・参加団体数 31団体 ・参加者数 289人 ・入場者数 1,139人		2月24日（日）開催 ・参加団体数 30団体 ・参加者数 283人 ・入場者数 1,094人		2月下旬開催 ・参加団体数 32団体 ・参加者数 300人 ・入場者数 1,150人		
成果		・参加者の学習意欲の向上が図られるとともに、新たな学習課題の発見につながった。 ・参加団体間の交流が図られた。 ・参加者と地域住民との交流や親睦を深めることができた。								
課題		参加団体数、参加者数、入場者数を拡大する方策が求められる。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標	参加団体数（団体）			31	31	30	32	32		
成果指標	来館者数【参加者数＋入場者数】（人）			1,217	1,428	1,377	1,450	1,450		
他市との比較検証	近隣市（安城市）においても公民館単位で、利用団体が学習成果の発表する「公民館まつり」を年1回開催し、地域の生涯学習活動の啓発を行っている。									
C 事業コスト V	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①		338	338	341	344	合計		340,620 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料		320,000 円	
		一般財源	338	338	341	344	使用料及び賃借料		20,620 円	
	職員人件費 ②		1,954	1,939	1,929	2,709				
	総事業費（①＋②）		2,292	2,277	2,270	3,053				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			学習発表会実施事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	東刈谷市民センター
款	項	目		担当係	
10	6	9			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>	高い	東刈谷市民センターの利用団体である市民が、日頃の学習成果を発表・展示することで学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図るため、必要性の高い事業である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>	普通	東刈谷市民センターの利用団体で構成される実行委員会に委託し、活動の充実・活性化を図り、学習意欲の一層の向上や参加促進を行い、効率的な運営を行っている。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>	高い	学習成果の発表の場の提供など市民の生涯学習活動を支援するために市の関与は必要である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>	普通	学習発表会を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、学習発表会を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名			施設管理事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	東刈谷市民センター		
款	項	目					担当係			
10	6	9								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	生涯学習施設（東刈谷市民センター）として維持管理に努め、利用者の利便を図る。			主たる内容	施設利用に係る受付事務、施設清掃、休日夜間管理事務、各種設備機器の日常・定期点検等を通じて、施設の適正な維持・保守管理を行う。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	社会教育法、刈谷市市民センター条例、刈谷市公民館条例							
	対象者	市民			事業期間	昭和57年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		東刈谷公民館利用者数 23,156人		東刈谷公民館利用者数 23,676人		東刈谷公民館利用者数 21,649人		東刈谷公民館利用者予定数 24,000人		
施設利用率 33.8%		施設利用率 37.4%		施設利用率 36.9%		施設利用予定率 38.0%				
成果		身近な学習施設である東刈谷市民センターで、公民館利用者が気軽に利用できるよう住民の利便を図り生涯学習の場を提供できた。								
課題		施設利用率が減少傾向にあり、市民講座参加者などに新たなサークル活動を促すなど、公民館利用者数、施設利用率を増やす施策が求められる。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		東刈谷公民館利用者数（人）			23,156	23,676	21,649	24,000	24,000	
成果指標		施設利用率（%）			33.8	37.4	36.9	38.0	38.0	
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、施設管理コストの削減に努め、また、積極的に利用者からの意見収集に努め、適切に対処することで、よりよい施設環境の提供を行っている。								
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費①		11,961	12,614	13,670	13,944	合計	13,670,012円		
	財源	特定財源	1,596	1,597	1,567	1,707	需用費	4,160,753円		
		一般財源	10,365	11,017	12,103	12,237	役務費	171,509円		
	職員人件費②		5,080	5,040	5,015	6,579	委託料	8,714,366円		
	総事業費（①+②）		17,041	17,654	18,685	20,523	使用料及び賃借料	62,756円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0		市民センター使用料						
2年度以降の事業費見込		0		電話料実費徴収金						

会計名			施設改修事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	東刈谷市民センター		
款	項	目					担当係			
10	6	9								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	施設の老朽化が進む中、施設を良好に維持し施設の円滑な運営と利用者の安全を図るため、施設の改修等を行う。				主たる内容	○外壁等改修工事 ・外壁改修工事 ・防水改修工事 ・エレベーター改修工事			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	社会教育法						
		対象者	市民			事業期間	昭和57年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・2階図書室、児童館入り口に監視カメラ設置、及び1階図書室の監視カメラ取付位置変更 ・東刈谷出張所入り口付近の排水枡・排水溝つまり除去・清掃及び通路アスファルト修繕 ・東刈谷出張所入りロスロープ手摺修繕		・老人センタートイレ污水管、松栄公園樹木（桜）根詰まり等による修繕 ・老人センター玄関風除室内外自動ドア修繕 ・児童館通路マット取替修繕		・東刈谷市民センター外壁等改修工事（外壁改修工事、防水改修工事、エレベーター改修工事）		・大規模改造工事設計委託		
成果		生涯学習施設として、より安全で快適に利用できる施設を提供することができた。								
課題		施設の老朽化に伴い、随時改修、整備を行っていく必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		1,374	1,193	39,375	13,345	合計	39,374,640円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	39,374,640円		
		一般財源	1,374	1,193	39,375	13,345				
	職員人件費②		782	1,163	1,543	2,322				
	総事業費（①+②）		2,156	2,356	40,918	15,667				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費			0							
2年度以降の事業費見込			0							